

近畿大学 情報学部

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL (06) 4307-3116 FAX (06) 6724-5285

[入学センター] TEL (06) 6730-1124

[入試情報サイト] <https://kindai.jp>

[情報学部サイト] <https://www.kindai.ac.jp/informatics/>



近畿大学情報学部

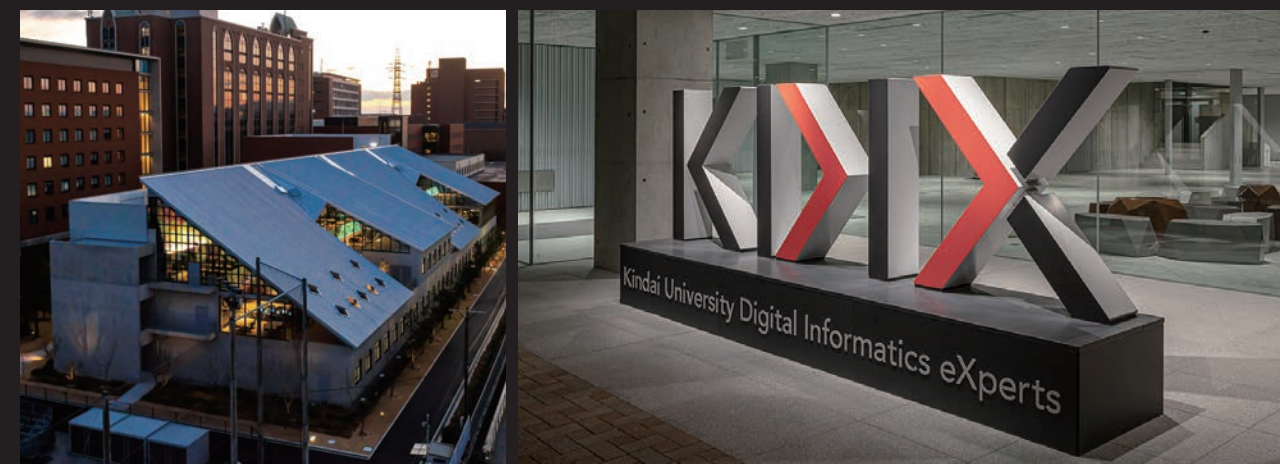
情報学科

2024

KINDAI UNIVERSITY



Faculty of Informatics



近畿大学情報学部の良いところ、



スキなところは？



随時更新中！ 情報学部の最新の情報は ここでチェック

情報学部のより詳しい情報について、ぜひ情報学部の公式ホームページをご覧ください。本冊子には盛り込まれていない、さまざまな情報が入手できます。また、「ニュース&トピックス」や「最新の研究業績」は常に更新されています。定期的にチェックして、興味深い話題を発見してください！

ホームページへアクセス！
スマホ版もこちらから
<https://www.kindai.ac.jp/informatics/>



近畿大学 情報学部

CONTENTS

学びの特長

最新の設備を誇る学びのステージ 03

4年間の流れ

情報学部の4年間 07

学科・コース紹介

情報学科 09
知能システムコース 10
サイバーセキュリティコース 11
実世界コンピューティングコース 12
教員紹介 13
英語教育 15

国際交流

国際交流 15

キャリア

将来の進路 16

奨学金

奨学金 16

情報学部長・研究所長紹介

情報学部長・研究所長紹介 17
情報学研究所 17

交通アクセス

交通アクセス 18

*本誌に掲載されている学生の学年表記は、取材時（2022年度）のものです。
また教員組織は2023年度のもので、2024年度は変更になる場合があります。

学びの特長



#プログラミングBootCamp
入学後いきなりのプログラミング体験



#多種多様なメディア講義
時間に縛られない効率的な学び



#久夢良木ゼミ
「イノベーション」をキーワードに学生の好奇心を刺激



#AATCE Apple Authorized Training Center for Education
アジア初Apple社認定
iOSアプリ開発人材の育成施設

施設の特長 最新の設備を誇る情報学部生のための学びのステージ



#i-CORE
学生同士の触発を生む
デジタル空間



#esports Arena
国内最高クラスの設備



#On Demand Salon
多様な講義形態に
対応できる学習スペース



#研究エリア
「壁」のない研究と交流

西日本屈指の情報教育の拠点 近畿大学情報学部、2022年始動

世界中で求められる先端IT人材

人材不足が深刻なIT業界。近年特に、ビッグデータやIoT、人工知能、情報セキュリティなど、先端IT技術に携わる人材が求められています。ところが、収入は全職種平均を大きく上回るにも関わらず、今後も慢性的な人材不足が懸念されています。近畿大学情報学部では、社会に求められる技術の習得だけでなく、Society 5.0を実現するクリエイティブな技術者の育成をめざします。

情報セキュリティ人材

-20万人

IT技術者の中でも情報セキュリティ人材は2020年には約20万人不足すると予測されており、その数はさらに増加傾向にあると言われています。

出典：「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」(2016年・経済産業省)を加工して作成

IT人材

-78.7万人

IT人材は、2030年には最大で約78.7万人不足すると予測されています。

出典：「IT人材需給に関する調査-調査報告書」(2019年・経済産業省)を加工して作成

平均年収

+112.8万円

2012年～2019年においてシステムエンジニアの年収は、全職種年収の平均を約112.8万円上回っています。

出典：「賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)を加工して作成

先端IT人材を育成するカリキュラム

Society 5.0を実現するクリエイティブな技術者となるために必要な能力は多岐に渡ります。単なる技術の習得にとどまらず、社会のニーズに応えるIT人材としてふさわしい能力を身につけるカリキュラムを展開します。

問題を
発見する
能力

問題を
解決する
能力

他者と
協調する
能力

幅広い
専門技術の
知識

コミュニケーション
能力

システム
構想・
設計力

プログラミング
能力

技術者
倫理

サイバー空間

- オンデマンドメディア講義
- リアルタイムメディア講義
- 学習管理システム(LMS)
- 提出物のペーパーレス化
- 諸手続きのオンライン化
- 相談窓口のオンライン化

BYODで
(Bring Your Own Device)
いつでも、どこでも
学びの場を提供!

**【学び力】
パワーアップ**

BYODの詳細は
こちらから→



フィジカル空間

- コミュニティ形成
- 自己管理能力
- チームワーク力
- 社会とのインタラクション

【情報学部が推奨するPC】MacBook Air13インチ

フィジカル空間とサイバー空間双方の利点を生かし学びを深める!

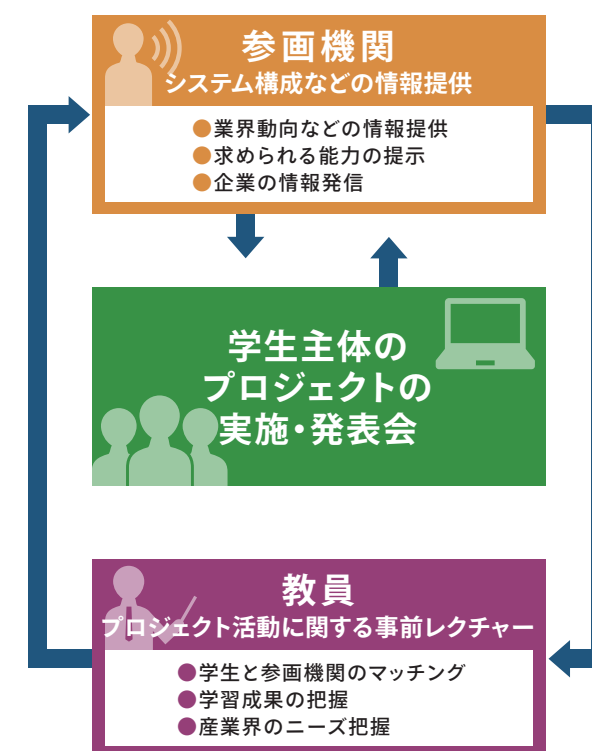
情報学部の愛称「KDIX(ケーディックス)」



Kindai University Digital Informatics eXperts

社会から強く求められているAI活用やデータ分析、サイバーセキュリティ対策などを扱う、先端IT人材の育成を進める情報学部の愛称は「KDIX(ケーディックス)」と言い、「**デジタルと情報学の専門家集団**」を意味します。

自己管理能力とチームワーク力の涵養



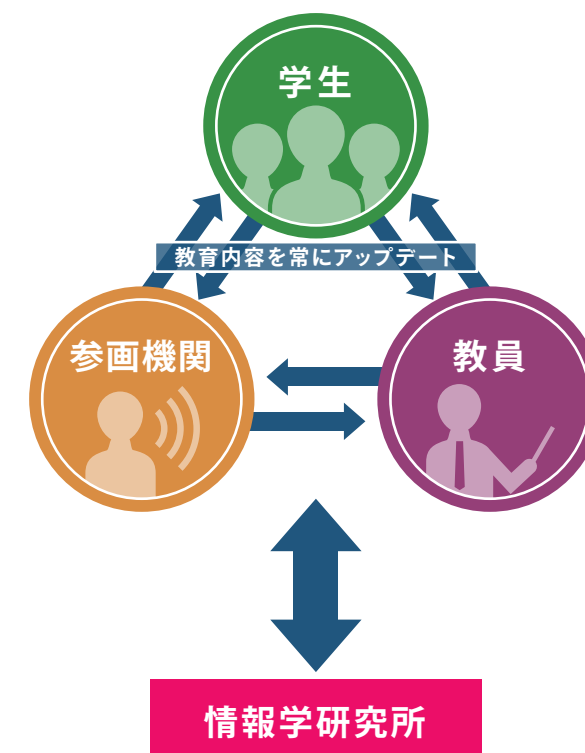
1からプログラミングを学んでいます



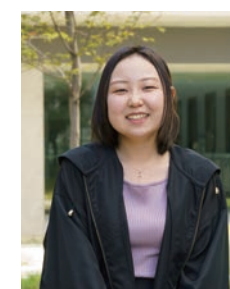
日野 隼 さん
[1年] 大阪府・近畿大学附属高校出身
選択希望のコース：
サイバーセキュリティコース

情報学部は新設の学部ながら、前身の理工学部情報学科で蓄積された知見があると考え進学しました。高校生のときはパソコンもあまり触ることがありませんでしたが、情報学部で1からプログラミングを学ぶことができました。好きな講義は「プログラミング基礎」。講義はわかりやすく、また分からない単語はすぐに調べることを心がけているため、しっかり理解できています。さらに毎回の講義後の課題でプログラムを自分で作るので力がつきます。今後の目標は基本情報技術者試験に合格すること。そのために資格関連の講義を受けています。

実社会と結びついた教育(産官学連携)



やりたいことを形にするスキルを身につけたい



三上 佳純 さん
[1年] 兵庫県・親和女子高校出身
選択希望のコース：
実世界コンビューティングコース

ゲームが好きなので、その制作に関わってみたいと思い情報学部に進学しました。入学して知ったのは、プログラミングの楽しさです。特に「プログラミング基礎」の講義では、理解できたときにとても喜びを感じます。講義を受けたり友人と関わる中で、自分のやりたいことを実際に形にするスキルを身につけたいという気持ちが高まりました。今後の大学生活での目標は、講義で学んだことを好きな分野につなげたり、さらに学ぶ楽しさを見つけることです。また、在学中にTOEICにも挑戦し、卒業後は外資系企業、海外企業に就職したいと考えています。

新たな情報価値や情報サービスの創出を担う技術者の養成をめざす



オンライン講義



対面講義



対面講義 + オンライン講義



教員からのメッセージや最新の研究実績は、情報学部Webサイトへアクセス！

スマホ版もこちらから今すぐサイトでチェックしよう！

CHECK! ▶

近大情報学部

検索



1 年次

入学後すぐの「プログラミングBootCamp」で集中的に学ぶ



滝口 朔矢 さん
[1年]兵庫県・武庫川女子大学附属高校出身
選択希望のコース：実世界コンピューティングコース

高校の時にもロボット作りをしていたことがありましたが、その時は先生方に多くを教えてもらいながらだったので今回が初めての一人で自分の作品を仕上げる機会でした。自分の思うロボットの機能を実装するために、答えのない問題を考える必要があったのでとても大変でした。しかし答えがないからこそ自分の理想に限りなく近づけるために、途中で妥協せず納得のいくところまで、出来る限りの全力で取り組むことができました。優秀賞と聞いた時はとても驚きましたが、自分が一生懸命作ったものを評価してもらえたことを嬉しく思います。

講義実習科目

共通教養科目



基礎必修科目
専門必修科目



英語・第二外国語



少人数教育

基礎ゼミ1・2

コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、協働力を養うとともに、2年次のコース選択に向けた基礎知識を習得します。



2 年次

知能システムコース

サイバー空間に蓄積されたビッグデータをAIで解析し、新たな情報価値を創出するスキルを養成します。AI技術の基礎となる数学・確率統計、データ分析をはじめとしたAI応用について学び、社会を豊かにする新しいAIの開発に取り組む企業への就職をめざします。



サイバーセキュリティコース

IoT社会においてシステムを安全、安心に利活用するために不可欠なセキュリティスキルを養成します。IoT社会を実現するために必要なネットワーク技術やセキュリティ対策技術、クラウド技術を学び、IT企業や情報セキュリティ管理者を必要とする多様な企業への就職をめざします。



実世界コンピューティングコース

人間中心のシステム設計論を基礎に、IoTやAIを組み合わせ、社会実装につなげるスキルを養成します。人間中心のシステム設計論やコミュニケーション、インタラクション設計などを学び、情報系企業、エンターテインメント系企業、新たなサービスやイノベーションを創出する起業家をめざします。



情報学基礎ゼミナール1・2

学生同士での活発な議論や担当教員との対話のもと、発想力、創造力、問題解決能力を養成します。



情報学応用ゼミナール1・2

3年次前期から研究室に所属し、早期から最先端のICT研究に携わることで、情報学の実践的な知識習得と、高度な問題解決能力を養成します。



卒業研究

AI、IoTなど最新の情報手段を活用して問題解決を図る経験を積み重ねる中で、社会で活躍できる技術者として必要な知識と実践力を身につけます。



交流教育

学生中心プロジェクト

2年次及び3年次に実施する社会情報学実習では、情報技術やアイデアを駆使してグループで解決策を模索する、学生主体型の企業連携型プロジェクト(学生中心プロジェクト)を実施します。企業や官公庁等と連携して主体的に課題解決に取り組むことにより、自己管理能力とチームワーク力、自ら考え実践する力を涵養します。



オンデマンド講義で時間を有意義に使えます



三好 優衣 さん
[1年]大阪府立池田高校出身
選択希望のコース：知能システムコース

私がこの学部に入学を決めた理由は3つ。1つ目は、AIを活用して社会に貢献するという夢を実現できると考えたため。2つ目は、新設なので新しいことに挑戦できると考えたため。3つ目は、学生生活を無駄にしないカリキュラムに魅力を感じたため。オンデマンドやオンラインを活用した講義も多く、時間を有意義に使えます。入学前はプログラミングの知識がなく、ついていけるか不安でしたが、講義はどれも興味のある科目ばかりで、楽しく前向きに取り組んでいます。情報技術は日々変化するので、スピード感をもって知識を得よう心がけています。

充実した設備と環境の中で学んでいます



清水 千寿 さん
[1年]大阪府立千里高校出身
選択希望のコース：サイバーセキュリティコース

幼い頃から興味を持っていたプログラミングを、充実した設備と環境の中で本格的に学ぶことができると期待し、近畿大学の情報学部に入學しました。プログラミングの基礎的な知識や実装までの考え方、データの価値や利用方法とリテラシーに基づいた向き合い方、外国語でのコミュニケーション能力が身についたと思います。また情報技術の価値や利用方法、未来などを深く考えるようになり、限られた時間の中で自分の将来のために何を学ぶべきかを選べるようになりました。今後の目標は基本情報技術者試験の合格とTOEICで高得点を獲得することです。

オンラインで場所を問わず講義に参加できます



玉木 颯 さん
[1年]兵庫県立伊丹高校出身
選択希望のコース：知能システムコース

他大学の工学部にも情報系の学科はありますが、物理などの学習が必須となるため、また新設で最新の設備を使えるため近畿大学の情報学部を選びました。講義を通してプログラミング技術が身についただけでなく、自分と同じ情報系に進みたいという友人ができ、課題の進捗などを話す時間が有意義に感じられます。好きな講義は「情報処理実習Ⅰ」。好きなJavaScriptを扱うことやオンラインで場所を問わず講義に参加できることがその理由です。基礎ゼミの時間にそれぞれのコースの良さを知ったため、じっくり考えコースを選択したいです。

AATCE[®]を活用しCertified User
(App開発ツールの基礎知識を証明する資格)に合格！



高島 翔瑛 さん
[1年]大阪府立住吉高校出身
選択希望のコース：実世界コンピューティングコース

AATCEの受講を決めたのは、何事も試した方がより良い結果につながると思ったからです。AATCEでは、自由なタイミングで充実した設備を利用し、Swiftプログラミングのやり方やXcode(エディタ)の使い方を学びました。わからない単語はすぐに調べるなど試験に向けた対策をするなかで、アプリを見た時にどういった仕組みで作っているかを考えるようになり、講義もより理解できるようになりました。今後の目標はAssociateやプログラミング関連の他の資格を取ること、Apple社に就職することです。



※Apple Authorized Training Center for Education (Apple社認定教育トレーニングセンター)



知能システムコース

本質を見抜くデータサイエンティストになるために、 人工知能・機械学習の数理的な裏付けを学ぶ

サイバー空間に蓄積されたビッグデータをAIで解析し、人々の生活をより便利にする情報を提供する社会インフラやデータ活用システムを構築できる人材を育成します。AI技術の基礎となる数学・確率統計、データ分析をはじめとしたAI応用について学び、社会を豊かにする新しいAIの開発に取り組む企業への就職をめざします。

カリキュラム ※〔 〕内の数字は単位数です。カリキュラムは2023年度開講予定のものです。2024年度は変更になる場合があります。 ※自由選択科目

専門科目	1年次	2年次	3年次	4年次		
必修科目	基礎微積分学 [2] 基礎線形代数学 1 [2] 基礎線形代数学 2 [2] 確率統計 [2] コンピュータ基礎 [2] プログラミング基礎 1 [2] プログラミング基礎 2 [2] IoT [2] オブジェクト指向プログラミング [2]	ネットワーク技術 [2] データ構造とアルゴリズム [2] Webシステム [2] オブジェクト指向設計 [2] プログラミング実習 1 [2] プログラミング実習 2 [2] 情報学基礎ゼミナール 1 [2] 情報学基礎ゼミナール 2 [2]	離散数学 [2] 多変量解析 [2] 応用数学 [2] 機械学習 1 [2] 実践機械学習 [2] 統計データ解析 [2]	人工知能 [2] 情報学応用ゼミナール 1 [2] 情報学応用ゼミナール 2 [2] 知能システムプロジェクト 1 [2] 知能システムプロジェクト 2 [2] メディア処理 [2]	情報理論 [2] HCI [2] データマイニング [2] 情報セキュリティ [2] 機械学習 2 [2]	卒業研究 [8]
	科目必修	社会情報学実習 1 [1] 社会情報学実習 2 [1]	自然言語処理 [2]	社会情報学実習 3 [1] 社会情報学実習 4 [1]	音声言語処理 [2] コンピュータビジョン [2]	
選択科目	情報処理実習 1 [1] 情報処理実習 2 [1] 基礎物理学および演習 [3] 基礎生物学 [2] 基礎化学および演習 [3] 化学 [2] 生物学 [2] 機械学習概論 [2] ＊eスポーツ [2]	ITビジネス基礎 [2] 数理計画法 [2]	データベース論 [2] キャリアデザイン [2] データモデリング [2] 医療情報学応用 [2] 知的エージェント [2]		情報と職業 [2]	

専門的な知識を得ることができる 知能システムコースに魅力を感じています



東 楓太 さん
[1年]和歌山県・
近畿大学附属新宮高校出身
選択希望のコース：
知能システムコース

日々進化する情報技術を学ぶことができ、AIやセキュリティ、他にも幅広い分野を学べるため情報学部に入學しました。プログラミングやAIといった分野は常に新しい知識を取り入れる必要があり、自分で学ぶ姿勢が身につきました。また同級生も高い意識を持った人ばかりで、日々良い刺激をもらっています。選択するコースはまだ決まっていますが、習得の難しい専門知識をたくさん得ることができる点で、知能システムコースに魅力を感じています。

PICK UP! 1 実践機械学習

機械学習とは、大量のデータと各データに関連づけられたラベルとの関係を分析して、データxからラベルyを予測する $y=f(x)$ という関数(モデル)を構築する技術です。本科目では、現実のデータを対象としたモデルの構築、性能評価を通して、機械学習の実践方法について学びます。

PICK UP! 2 知能システムプロジェクト1

3年前期のこの科目では、これまでに学習してきた人工知能に関する技術を利用したアプリを開発します。アプリ開発には、それぞれの技術に関する知識だけでなく、使いやすい機能を実現する設計力、プログラミングなどのスキルも必要ですので、これらを総合的に学びます。

PICK UP! 3 データマイニング

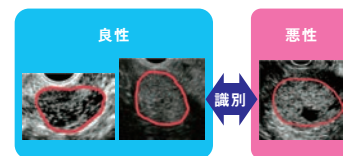
蓄積された膨大なデータから人間にとって意味のある情報を抽出するには、コンピュータの利用が不可欠となっています。本講義では、膨大なデータを効率よく収集・解析し、人間では気づくことができない新たな価値を発見するために必要な技術について学びます。

TOPICS 近畿大学医学部・近畿大学病院との連携による医用画像診断に関する研究

医師の個人差の影響を受けない客観的・定量的な評価や、大量の診断対象がある場合の負担の軽減をめざし、医師の診断を補助するAI(人工知能)や関連技術の開発を行っています。いくつかの事例を紹介します。

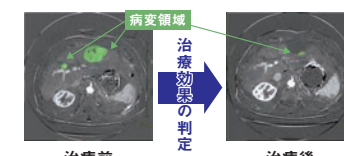
胃粘膜下腫瘍に対する 機械学習を用いた自動診断の検討

超音波内視鏡で撮影した胃の動画像を用いて、胃粘膜下の腫瘍の診断を行います。深層学習などの機械学習を用いて、良性腫瘍・悪性腫瘍それぞれの特徴を捉え、腫瘍領域を絞り込み、悪性・良性を識別します。



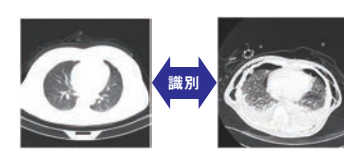
CT画像を用いた肝細胞癌分子標的 薬治療の定量的効果判定支援システム

分子標的薬による肝細胞癌の治療効果を定量的に判定するために、CT画像の中に見られる病変領域の変化を観察します。病変部の面積・温度・最大径の変化を定量的に評価し、そこから計算されるスコアを用いて分子標的薬治療の効果判定を支援します。



深層学習を用いた新型コロナウイルス 感染症の識別手法の評価

CT画像を用いた新型コロナウイルス感染症の診断を補助するために、深層学習を用いてCOVID-19肺炎と通常の肺炎との自動識別を行います。肺領域の自動抽出や識別時に注目する領域の誘導を行って高い精度をめざしています。



これらの研究は、近畿大学医学部・近畿大学病院と協力して実施しており、医療従事者の意見を取り入れながら、さまざまな臨床場面に応じたシステム・手法を開発し、医療への貢献をめざしています。これらの研究は、前身である理工学部情報学科の学部4年次の卒業研究として実施したのですが、大学院へ進学して研究を継続し、より大きな成果につなげることもできます。

Society 5.0を実現できるクリエイティブな先端IT技術者の育成

サイバー空間と実世界を高度に融合させた超スマート社会「Society 5.0」の実現に向けた取り組みが官民一体となって進められています。Society 5.0実現のためには、情報処理の基盤技術はもちろんのこと、AI、ビッグデータ、サイバーセキュリティ、IoTなどを活用できる、いわゆる先端IT技術者が必要不可欠であり、先端IT人材は、社会のさまざまな分野で求められています。情報学部情報学科の教育理念は、建学の精神である実学教育を重視し、広い視野から問題の核心を的確に把握する洞察力、技術的な課題を解決する専門能力、進歩を続ける情報技術に対応できる柔軟な思考力と創造力を持ち、社会の一員としての責任と自覚を有する情報技術者を育成することです。

山村さんの時間割(1年次)

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2	コンピュータ基礎	基礎ゼミ1		韓国語総合1	基礎微積分学
3	英語総合1	プログラミング基礎1	英語総合1		
4	基礎線形代数学1			オーラルイングリッシュ1	
5		情報処理実習1			

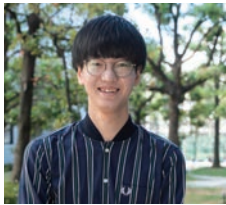
サイバーセキュリティコース

情報セキュリティとネットワークの知識に加えて、 実習によって実践的なスキルを身につける

サイバー空間に大規模データを収集し利活用するための安全な情報基盤を構築するICTアーキテクトや、高度化するサイバー攻撃に対処できる情報セキュリティ人材を育成します。IoT社会を実現するために必要なネットワーク技術やセキュリティ対策技術、クラウド技術を学び、IT企業や情報セキュリティ管理者を必要とする多様な企業への就職をめざします。

カリキュラム ※[]内の数字は単位数です。カリキュラムは2023年度開講予定のものです。2024年度は変更になる場合があります。 ※自由選択科目				
専門科目	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	基礎微積分学[2] 基礎線形代数学 1 [2] 基礎線形代数学 2 [2] 確率統計[2] コンピュータ基礎[2] プログラミング基礎 1 [2] プログラミング基礎 2 [2] IoT[2] オブジェクト指向プログラミング[2]	ネットワーク技術[2] データ構造とアルゴリズム[2] Webシステム[2] オブジェクト指向設計[2] プログラミング実習 1 [2] プログラミング実習 2 [2] 情報学基礎ゼミナール 1 [2] 情報学基礎ゼミナール 2 [2]	OSとコンピュータアーキテクチャ[2] 暗号と情報セキュリティ[2] [PICK UP 1] 離散数学[2] 情報セキュリティ対策と管理 1 [2] ネットワークセキュリティ技術[2] 情報数学[2] サイバーセキュリティプロジェクト 1 [2] [PICK UP 2] サイバーセキュリティプロジェクト 2 [2] ソフトウェア工学[2] 情報セキュリティ対策と管理 2 [2]	情報理論[2] セキュリティ解析技術[2] モバイル通信[2] 組み込みシステム[2] セキュリティ技術評価と実装技術[2] クラウドコンピューティング[2] [PICK UP 3] 卒業研究[8]
科目必修		社会情報学実習 1 [1] 社会情報学実習 2 [1]	社会情報学実習 3 [1] 社会情報学実習 4 [1]	
選択科目	情報処理実習 1 [1] 情報処理実習 2 [1] 基礎物理学および演習[3] 基礎生物学[2] 基礎化学および演習[3] 化学[2] 生物学[2] 機械学習概論[2] * eスポーツ[2]	ITビジネス基礎[2] ブロックチェーン[2]	データベース論[2] キャリアデザイン[2] サイバー犯罪学[2] 情報と社会[2] * ネットワーク演習1 [2] * ネットワーク演習2[2]	情報と職業[2]

サイバーセキュリティコースで目標を実現したい



大谷 拓未 さん
[1年]大阪府・
近畿大学附属高校出身
選択希望のコース：
サイバーセキュリティコース

専門的な知識やプログラミング技術を身につけられることに加え、コミュニケーション能力や実社会に結びついた学習を通して充実した大学生活を送れると考え情報学部に入学しました。将来はSociety 5.0を実現できる技術者として、サイバー空間と実世界を誰もが安全かつ便利に利用できる環境を構築できる情報技術者になりたいと考えています。サイバーセキュリティコースにはこの目標を実現できるカリキュラムがあり、情報処理安全確保支援士やシスコ教育プログラムなどの資格習得をサポートする講義に魅力を感じます。

PICK UP! 1 暗号と情報セキュリティ

情報セキュリティとは、人、モノ、情報が危害を受ける原因やこれを導引する弱点に対策をすることを指します。本科目では、情報セキュリティの考え方、重要性や、情報資産に対する脅威、脆弱性、不正のメカニズムと攻撃、これらの対策で使用する暗号、認証などの技術の仕組み、原理について学びます。

PICK UP! 2 サイバーセキュリティプロジェクト 1

組織内でサイバー攻撃の検出、通知を行う部門としてセキュリティオペレーションセンターがあります。本実習科目では、仮想空間内に構築したネットワーク環境を利用した実践的な演習を通して、セキュリティオペレーションセンターにおけるアナリスト業務に必要な知識や技術を学びます。

PICK UP! 3 クラウドコンピューティング

クラウドコンピューティングとは、ネットワーク上の情報処理サービスであるクラウドを必要に応じて利用することです。本科目では、クラウドに関する基礎知識やそれを実現するための技術について学習します。また、実習を通してクラウドの利用方法や構築方法などの実践的なスキルを学習します。

TOPICS IoTデバイスの管理支援システムの開発

情報通信技術、IoT (Internet of Things) 技術の目覚ましい発展により、家電、電話、ゲーム機、車など身近にあるさまざまなモノがインターネットに接続されるようになりました。加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う社会の変化により、情報通信技術の利活用が急速に進んでいます。インターネットに接続可能なIoTデバイスの数は2020年時点で約250億台と見積もられており、今後もその種類、数は増加すると予想されています。一方、IoTデバイスは管理が行き届きにくく、IoTデバイスの中には設定が不十分なまま、あるいは脆弱性を抱えたまま利用されているものが多数あると考えられます。そのようなIoTデバイスはサイバー攻撃の被害を受けるだけでなく、他のデバイス、ネットワークシステムに危害を与えることもあり、大きな問題となっています。そこで、本研究では、ネットワーク中にあるIoTデバイスの管理を支援するシステムを開発しました。開発したシステムでは、ネットワークに接続されたIoTデバイスの情報を自動的に収集し可視化します。また、デバイスに脆弱なパスワードが設定されている場合、そのパスワードを安全なものに自動的に変更します。このシステムを利用することにより、脆弱なパスワードを悪用したサイバー攻撃の被害防止が期待できます。本研究は、前身である理工学部情報学科で実施し、情報処理学会全国大会で学生奨励賞を受賞しました。また、大学院で、この研究を元にしたさらに高度な研究を進めています。



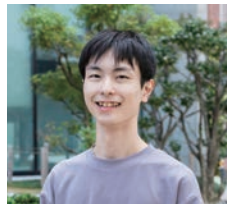
実世界コンピューティングコース

人間中心のシステム設計論を基礎に、 IoTやAIを組み合わせ社会実装につなげるスキルを身につける

IoT、AI、及びシステムとユーザの相互作用に関する人間中心のシステム設計を高度に統合して、実世界で新たなサービスやイノベーションを創出できる人材を育成します。人間中心のシステム設計論やコミュニケーション、インタラクション設計などを学び、情報系企業、エンターテインメント系企業、新たなサービスやイノベーションを創出する起業家をめざします。

カリキュラム					
※[]内の数字は単位数です。カリキュラムは2023年度開講予定のものです。2024年度は変更になる場合があります。 ※自由選択科目					
専門科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
必修科目	基礎微積分学[2] 基礎線形代数学 1 [2] 基礎線形代数学 2 [2] 確率統計[2] コンピュータ基礎[2] プログラミング基礎 1 [2] プログラミング基礎 2 [2] IoT[2] オブジェクト指向プログラミング[2]	ネットワーク技術[2] データ構造とアルゴリズム[2] Webシステム[2] オブジェクト指向設計[2] プログラミング実習 1 [2] プログラミング実習 2 [2] 情報学基礎ゼミナール 1 [2] 情報学基礎ゼミナール 2 [2]	コミュニケーション論[2] 人間中心設計論[2] ネットワークセキュリティ技術[2] エンターテインメント コンピューティング[2] コンピュータグラフィックス[2]	人工知能[2] 情報学応用ゼミナール 1 [2] 情報学応用ゼミナール 2 [2] 実世界コンピューティング プロジェクト 1 [2] 実世界コンピューティングプロジェクト 2 [2] アドバンスドWebシステム[2] 人工現実感[2] インタラクション設計[2]	卒業研究[8]
	社会情報学実習 1 [1] 社会情報学実習 2 [1]	社会情報学実習 3 [1] 社会情報学実習 4 [1]			
科目必修					
選択科目	情報処理実習 1 [1] 情報処理実習 2 [1] 基礎物理学および演習[3] 基礎生物学[2] 基礎化学および演習[3] 化学[2] 生物学[2] 機械学習概論[2] ※eスポーツ[2]	ITビジネス基礎[2] モデル最適化基礎[2] 調査データ分析[2]	データベース論[2] キャリアデザイン[2] 深層学習[2] 社会シミュレーション[2] データマイニング[2]	情報と職業[2]	

実世界コンピューティングコースで 楽しみを創り出す側に



山本 隆太 さん
[1年]
沖縄県・N高校出身
選択希望のコース：
実世界コンピューティングコース

Webアプリケーションの開発を行う実世界コンピューティングプロジェクトやエンターテインメントコンピューティングなど、楽しみが尽きないコースカリキュラムを通して、楽しみを創出する側になれると感じ、実世界コンピューティングコースに進みたいと考えています。時代の最先端を追いかけたいという思いから、入学後はアイデアをプログラミングに置き換えていくこと、そして、それを体系的に考え、理解することが意識してできるようになりました。

PICK UP! 1 人間中心設計論

人間中心設計は、システム開発を行う際に、そのシステムを利用するユーザーの使いやすさ、満足度などを重視する設計概念です。本科目では、人間の知覚特性やインタフェースを構成する入出力装置、デザイン指針、近未来のインタフェースに触れつつ、人間中心設計について学びます。

PICK UP! 2 エンターテインメントコンピューティング

エンターテインメント(娯楽)は人の心の健康を保つ重要な要素の一つであり、人を楽しませるものであればあらゆるものが対象となります。情報技術を用いてエンターテインメントを創造するための技術、「面白さ」の基本要素を解明し評価方法を確立するエンターテインメント性、並びに、教育・エクササイズ・福祉などのさまざまな分野での応用例について学びます。

PICK UP! 3 実世界コンピューティングプロジェクト 1

実際のシステム開発を模擬した課題、具体的にはWebサーバとPCのブラウザを用いて動作するWebアプリケーションの開発を通してWebシステムの仕組みを学びます。また、そのシステムを利用するユーザーの使いやすさ、満足度を重視したシステム設計論について、実践を通して理解することをめざします。

TOPICS スマートフォンを用いたドライバーモニタリング技術で実世界交通行動データを集積する交通IoTの研究

スマートフォン搭載カメラを用いたドライバーモニタリング技術により、運転中のドライバーの運転行動を計測、クラウド上に実世界交通行動データとして集積する交通IoTの研究開発を行っています。この研究では、事故原因の大半を占めるヒューマンエラーを起こす主体である「人」に着目し、多くの人が携帯しているスマートフォンを用いて、ドライバーの日常運転中の視線や顔向き、角度を計測することで、実世界においてドライバーがどのような運転行動をとっているのかリアルタイムに把握することを可能としています。本研究では、ドライバーモニタリング装置を研究協力者の自家用車に搭載、延べ14,000km以上の日常運転行動データを計測し、データベースとして整備しました。ドライバーが日々利用している道路環境下で計測した日常運転行動データを、地理情報システムならびに自動車教習所指導員の安全運転知識データベースを用いて解析し、どのような場所、交通状況下においてドライバーが事故のリスクを高めるような運転行動をする傾向にあるのか把握を試んでいます。また、ドライバーの運転行動を常時モニタリングし、眠気、疲労、意識の脇見などドライバーの周辺監視レベル低下の兆候があればリアルタイムに情報提供することで、ドライバーの運転行動を安全な方向に変容させることをめざしています。現在、いくつかの協力企業と連携し、日本各地で本システムの実証実験を進めています。IoTをはじめとした情報通信技術の活用により、全ての人が安心して外出できる安全安心な交通社会実現のための技術開発を、今後も進めていきます。



スマートフォン端末を用いたドライバーモニタリング

エンターテインメント・コンピューティング研究室



久夛良木 健 教授

コンピュータとエンターテインメントの融合領域における新技術の研究をしています。

専門分野
・リアルタイムコンピューティング
・コンピュータグラフィックス
・コンピュータビジョン
・デジタルツイン

ネットワーク研究室



井口 信和 教授

ネットワーク運用管理支援システムとネットワーク技術者・セキュリティ技術者の養成を支援する教育システム・学習支援システムの開発研究、IoTを活用したシステムを開発研究しています。

専門分野
・情報ネットワーク
・ネットワーク運用管理支援技術
・教育システム開発

数理情報工学研究室



田川 聖治 教授

モノやシステムの設計は最適化問題として記述できます。最適化問題を数式で記述するとともに、その膨大な解候補の中から、最良の解を効率的に見つけるアルゴリズムについて研究しています。

専門分野
・数理情報工学
・最適化手法
・統計学

知的教育情報システム研究室



越智 洋司 准教授

e-Learningと呼ばれる研究分野で、教育や学習の行動を認識するセンシング技術やシステムを研究開発します。人工知能やマルチメディア技術、コンピュータビジョンなどの技術を活用・応用します。

専門分野
・教育情報工学
・教育データ解析
・学習行動認識

ソフトウェア工学研究室



角田 雅照 准教授

ソフトウェア工学とは、いかにして品質の高いソフトウェアを作成するかを示す学問です。本研究室では、ソフトウェア開発における人的要因、ソフトウェアの信頼性、およびソフトウェアの生産性に着目し、データ分析に基づいてソフトウェア工学の研究に取り組んでいます。

専門分野
・ソフトウェア工学

ディメンダブルコンピューティング研究室



守屋 宣 准教授

ネットワークシステム上でコンピュータを効率よく動作させるためには、どのような手順で情報を通信し合えばよいのか、理論的な側面から研究しています。現代社会では大変重要な技術といえます。

専門分野
・分散アルゴリズム
・符号理論

環境情報科学研究室



佐野 到 教授

エアロソル情報は、PM2.5に代表される大気汚染情報、気象現象における雲特性の変化、地球温暖化抑制効果の把握などのため注目されています。エアロソル情報把握のため、地球規模の衛星観測、ローカルな地上計測を含めて、さまざまな角度から研究しています。

専門分野
・リモートセンシング

分散処理ソフトウェア研究室



樋口 昌宏 教授

ソフトウェアの信頼性を保証するためには、開発段階での検証や試験が非常に重要です。ネットワーク上で動作する分散処理ソフトウェアを対象に、検証あるいは試験の効率化などに関する研究を進めています。

専門分野
・形式的手法
・ソフトウェア工学

医用画像情報工学研究室



木村 裕一 教授

核医学PETを使った生体機能の定量画像の作成、及びAIによる脳疾患、癌の診断、癌の診断アルゴリズムの研究開発をしています。

専門分野
・核医学
・医用画像処理
・医用機器開発
・AI

知能情報基礎研究室



濱砂 幸裕 准教授

本研究室では、クラスタリングをはじめとするデータ解析手法の高度化に取り組み、データ解析手法の開発および、その応用に取り組んでいます。

専門分野
・クラスタリング
・機械学習
・データサイエンス

サイバネティクス研究室



柏崎 礼生 准教授

サイバネティクスとは人間と機械の相互関係を統一的に扱う学問領域で、1940年代にノーバートウィーナーにより提唱された古い学問領域です。いま、私たちが住む世界では機械（情報システム）と人間の関係性が問われつつありますが、この問題の解決が本研究室のめざすところです。

専門分野
・サイバーセキュリティ
・情報ネットワーク
・レジリエンス
・防災・減災

脳計算科学研究室



篠崎 隆志 准教授

深層学習に代表されるニューラルネットワークを用いた人工知能技術について学習法などの基礎理論から画像認識などの各種応用まで幅広く研究しています。

専門分野
・深層学習
・計算論的神経科学

計算知能研究室



半田 久志 教授

人間や生物は、適度に情報を取捨選択しながら知的な振る舞いを実現しています。本研究室では、自然と生物にヒントを得た、効率的で高機能な学習・進化アルゴリズムを研究しています。

専門分野
・進化計算
・医療AI

知識処理研究室



山田 武士 教授

人間と共存し、人間の主体的な判断を高度にサポートする知的システム実現にむけて、複雑なデータから隠れた構造や規則性を抽出・提供する機械学習手法を研究をしています。

専門分野
・機械学習
・データマイニング
・関係データ解析
・組合せ最適化

システムデザイン論研究室



須藤 秀紹 教授

社会システム、教育システムなどを含む広義のコミュニケーション・システムを「メディア」と捉え、それを構成するメンバー間で相乗効果が得られるようなしくみのデザイン方法論について研究しています。

専門分野
・コミュニケーションのデザイン
・情報メディア
・教育システム

知能行動情報学研究室



杉山 治 准教授

電子カルテのデータや患者から収集したPHRデータ、病院内に設置されたセンサデータから医師や看護師の行動を理解し、医療行動の支援を行う研究開発を行います。

専門分野
・医療情報学
・医療情報学
・ヒューマンコンピュータインタラクション

大規模情報処理システム研究室



水谷 后宏 准教授

膨大な数の端末が流通することで、大量のデータがインターネット上に展開されるようになりました。本研究室では、このような大量の情報を整理し、安定的かつ安全に解析・制御する方法を研究します。

専門分野
・大規模情報処理基盤
・大規模情報処理手法
・ネットワーク・サーバ(仮想化)技術

情報論理工学研究室



石水 隆 講師

一つの仕事を10人で行えばすぐに終わるのと同様に、一つの仕事に計算機10台を使えば、速く処理できます。本研究室では、さまざまな処理を複数の計算機で協力して行う方法を研究しています。

専門分野
・並列アルゴリズム

情報セキュリティ研究室



毛利 公美 教授

ネットワークを介してシステムを利用する際の安全性と高信頼性を機能的に提供する技術について研究しています。高機能暗号システムとそのアプリケーションなどの情報を守り活用する技術です。

専門分野
・情報セキュリティ
・暗号・符号理論

バーチャルインタラクション研究室



中西 英之 教授

ビデオ会議、メタバース、人型ロボットなどのリアリティを向上させることによってオンライン環境における人の存在感の伝達を可能にする技術を研究しています。

専門分野
・バーチャルリアリティ
・ヒューマンインタフェース
・ソーシャルロボティクス
・テレプレゼンス

電子商取引研究室



森山 真光 准教授

企業間や商取引で用いるWebサービスについて研究しています。ビジネスプロセスモデリングというコンセプトに基づいて業務フローや業務システムの最適化をめざしています。

専門分野
・サービスコンピューティング

画像処理研究室



広永 美喜也 講師

カメラで撮影された物体の色は光源やセンサーの影響を受けているので、人が目で見たと同じ色にはなりません。これらの影響を推定して対象物の色を正確に再現できるCGの研究を行っています。

専門分野
・分光画像処理
・画像解析

サイバーセキュリティ研究室



福田 洋治 講師

サーバー、OS、プロトコル、通信網などのアプリケーションを稼働するシステム基盤について、さまざまな脅威から情報を守るセキュリティ要素技術、セキュアなシステム構築・運用技術を研究しています。

専門分野
・情報セキュリティ

学習工学研究室



山元 翔 講師

人が物事(例えば算数やスポーツなど)を理解する仕組みを明らかにして、それを表現できる人工知能を開発します。これを応用して、人に寄り添った学習支援システムも開発しています。

専門分野
・知識工学
・AR/VR応用
・行動推定
・教育工学

人間情報科学研究室



阿部 孝司 准教授

人間らしく振る舞う知的コンピュータの構築をめざして、画像や音メディアを対象に、人間の「主観」「経験」「感性」などを考慮した、さまざまなソフトウェアシステムについて研究しています。

専門分野
・メディア情報学
・パターン認識
・医用画像処理

並行計算理論研究室



加藤 暢 准教授

自律的にネットワーク上を移動し、情報収集やスケジューリングなどの仕事を代行してくれる「しもべプログラム」(モバイルエージェントシステム)の開発や安全性の検証を行っています。

専門分野
・並列論理型言語意味論
・プロセス代数による並行システムのモデル化

自然言語処理研究室



溝渕 昭二 准教授

本研究室では、Web上にある言葉を手掛かりに、そこから私たちが必要とする情報を探し出し、利用したりするための技術を研究しています。

専門分野
・自然言語処理

フィールド分散知能研究室



大谷 雅之 講師

テレビや冷蔵庫などあらゆるモノがインターネットに繋がるIoT社会が徐々に実現しつつあります。マルチエージェント技術を用いてこれらの機器を制御し、実世界の問題を解決する方法を研究しています。

専門分野
・人工知能
・マルチエージェントシステム
・ヒューマンエージェントインタラクション(HAI)

教育情報学研究室



吉原 和明 助教

教育の情報化を支援するシステムや、ICT技術を用いた学習支援システムの開発研究を行っています。特に情報通信ネットワーク・セキュリティの学習支援システムの開発を行っています。

専門分野
・情報セキュリティ教育
・教育支援システム

コンピュータビジョン研究室



波部 斉 准教授

カメラで撮影した映像に写っている「もの」やそこで起こっている「こと」の理解を可能にし、我々の暮らしに役立つ人工知能の実現をめざしています。具体的には、見守りカメラによる集団行動解析や水中の魚群の動きの解析、物体認識のための基礎技術の開発などに取り組んでいます。

専門分野
・コンピュータビジョン
・画像認識
・パターン認識

交通情報学研究室



多田 昌裕 准教授

安全で安心な交通社会実現のため、ICTによって、自動車や自転車などを運転する「ひと」一人ひとりの個性を把握し、その人に合わせた安全支援を行うシステムの研究を進めています。

専門分野
・交通情報学
・人間行動センシング
・ウェアラブルコンピューティング

知的通信網研究室



谷口 義明 准教授

人やモノをセンシングする多数の通信機器からなるネットワークシステムを効率よく動作させるための方式検討や、その応用に関する研究などに取り組んでいます。

専門分野
・情報ネットワーク
・センサネットワーク

教養・基礎教育部門



三原 京 教授

英文パッセージのリスニングやリーディングの理解を助けるさまざまなアクティビティについて、主に語彙習得との関係を研究しています。

専門分野
・応用言語学
・英語教育学

教養・基礎教育部門



中川 浩 講師

海外留学プログラムに関する意見の因子分析及び海外留学プログラムの開発に関する研究をしています。

専門分野
・英語教育学
・キャリア教育
・クリティカルシンキング

教養・基礎教育部門



マーク ドネラン 講師

I research communicative approaches to teaching language and how these approaches can help Japanese students to communicate with non-Japanese people.

専門分野
・英語教育学
・異文化コミュニケーション学

CHECK!

教員からのメッセージや最新の研究実績は、**情報学部Webサイトへアクセス!**

スマホ版もこちらから
今すぐサイトで
チェックしよう!

近大情報学部

検索



情報学部 英語教育

国際共通語としての英語は、グローバル化の時代に活躍するITエンジニアには不可欠なツールです。さまざまなアプリを活用し、メディア授業を中心とした情報学部 にふさわしい英語の授業を受けることができます。また、英語村E³[e-cube]や国際交流プログラムを活用し、さらに学びを深めていくことが可能です。

1.少人数の習熟度別クラス編成

英語科目はすべて習熟度別クラス編成です。一人ひとりのレベルに合った授業を、少人数クラスで受けることができます。

2.ネイティブ教員の指導で英語コミュニケーション能力をアップ

1～2年次には、ネイティブ教員が指導する英語コミュニケーション授業に全員が参加します。さらに意欲のある学生は3年次に、IT分野のプロフェッショナルとして国際的に活躍できる英語コミュニケーション能力をつけるための指導を受けることができます。

3.TOEIC L&Rのスコアを上げる効果的な指導

1～2年次にTOEIC Listening & Reading Testに配慮した授業を受けることで、進学や就職に有利なスコアを取得するテクニックを身につけることができます。

4.ニーズに応える英語スキルを身につける授業

バラエティに富んだ英語科目が設定されています。組み合わせで履修することにより、ライティングやプレゼンテーションなど、希望するスキルに焦点を当てながら、総合的に英語力を向上させることができます。

国際交流

近畿大学の国際交流プログラム ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により変更または中止になる場合があります。

短期語学研修

実施大学

※2019年度および2022年度実績。

カナダ

カルガリー大学
ブリティッシュ・コロンビア大学

オーストラリア

ボンド大学
サザンクロス大学リズモア校

ニュージーランド

ワイカト大学
ダブリンシティ大学

フィリピン

セブ医科大学
漢陽大学

韓国

高麗大学
北京大学

留学制度

1学期間～2学期間で確かな実力を身につける長期留学。

単位の修得により、4年間での卒業も可能です。

交換・派遣留学 …… 留学希望者の中から選考の上、海外協定大学へ海外留学生として派遣する制度です。
認定留学 …………… 協定校以外の外国の大学へ、本学の認定を受けて留学する制度です。
※交換・派遣・認定留学とも、留学先で修得した単位は60単位を限度に卒業単位として認定されるので、4年間での卒業も可能です。

交換留学先大学

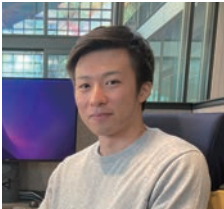
アメリカ	ノースカロライナ大学・ウィルミントン校
	カリフォルニア州立大学チャネルアイランド校
	ハワイバプティック大学
	ボイシー州立大学
カナダ	セントラルフロリダ大学
	ストックトン大学
	セント・トーマス大学
	プリンスエドワードアイランド大学
オーストラリア	フレザー・バレー大学
	ウェロンゴン大学
	ウェスタン・シドニー大学
	フィンランド
フィンランド	J A M K 応用科学大学
	ハルツ応用科学大学
	トリア単科大学
	クラウスター理工科大学
ドイツ	バーテュルゲンベルク経済州立大学・ベスルク
	ミュンスター応用科学大学
	インゴルシュタット工科大学
	ケルン応用科学大学
イタリア	フランクフルト応用科学大学
	ペルリン自由大学
	シエナ大学
	ベズミアレム・ヴェキフ大学
トルコ	カラビュク大学
	イスタンブール大学
	フランド
	ノルマンディビジネススクール

2023年1月時点



シュンシュ・ウッタムさん
理工学部情報学科 2022年3月卒業
金融機関 勤務

私は2年生の後期、交換留学制度を利用して、アメリカのウェストバージニア大学にセマスター留学しました。近大で単位認定してもらえそうな科目の中から興味がある科目を5つ選んで受講したので、4年で卒業できました。アメリカは授業のレベルが高く、グループワークが多く、大変でしたが、現地では新しい友人もでき、アメフトの試合を観戦したり、電子機器の展示会に行ったりして、楽しく過ごせました。現在は外資系の企業で働いていますが、アメリカで勉強したため、仕事で英語を使うのに困らないし、アメリカ滞在経験がある同僚とは共通の話題があって、仲良くなりやすいです。



松村 圭悟さん
総合理工学研究科エレクトロニクス系工学専攻
博士前期課程 1年

私は2年生のとき、2回、短期の海外研修に参加しました。1回目はキャリアセンター主催のIT企業研修で、夏休みに11日間アメリカ西海岸のサンフランシスコやシリコンバレー、スタンフォード大学などを訪問する機会を得ました。これが私の初めての海外で、刺激になりました。2回目はグローバルエデュケーションセンター主催の語学研修で、春休みに約1カ月、カナダに滞在し、ブリティッシュコロンビア大学で英語研修を受けました。ホームステイ先でヒーターに関する問題があり、ルームメイトやホストマザーと話し合って解決したのが良い思い出になっています。後半はカナダを一人旅して、いろいろな人と話をしました。現地の人々の温かさが良かったです。

キャリア

前身である理工学部情報学科の強力なネットワークを受け継ぎ、時代が求める専門スキルを生かした進路を実現

目標とする 資格・検定	関連の深い資格・検定
	■基本情報技術者/応用情報技術者 ■情報処理安全確保支援士 ■ネットワークスペシャリスト ■情報セキュリティマネジメント ■ITストラテジスト ■システムアーキテクト ■統計検定データサイエンス基礎・発展 ■G検定 ■Apple Inc.資格認定App Development with Swift ■シスコ技術者認定CCNA ■シスコ技術者認定CCNP ■シスコ技術者認定Cyber Ops Associate ■Oracle Academy Java SE 7/8 Bronze ■Oracle Academy Oracle Database 12c Bronze ■情報検定 情報システム試験 ■情報検定 情報デザイン試験 ■CGクリエイター検定 ■CGエンジニア検定 ■Webデザイナー検定 ■画像処理エンジニア検定 ■マルチメディア検定
	所定の単位修得で取得できる資格
	■司書 ■高等学校教諭一種免許(情報)

将来の進路

情報通信業をはじめ、製造業、運輸業、サービス業、官公庁などさまざまな分野で先端IT人材としてグローバルに活躍できるステージが広がっています

情報学部の卒業生は、ソフトウェア・ネットワーク・セキュリティ等の情報通信業だけでなく、ICT技術を活用するさまざまな業種でグローバルに活躍できる先端IT人材として社会から期待されています。また、情報技術を活用しイノベーションを創出する起業家や大学院進学、高等学校での情報科教員をめざすことも可能です。

総合大学のメリット キャリアセンター

入学直後から利用可能。総合大学としてのスケール・メリットを生かしバックアップ

1年次から利用できるキャリア支援のための場所です。就職活動時には、エントリーシート・履歴書の添削や面接指導から各種セミナーの実施まで、一人ひとりの希望に合わせたサポートを行っています。

学生一人ひとりに、きめ細かな支援 ゼミ指導教員によるサポート

さまざまな角度から学生の成長をバックアップ

1年次から4年次までのすべてのセメスターにおいて少人数ゼミを実施し、ゼミの担当教員や研究室の指導教員が学生一人ひとりの将来の進路設計を細やかにサポートします。

実学社会起業イノベーション学位プログラム

2023年4月、起業家育成・チャレンジ精神を持った人材養成を目的に、12番目の大学院として「実学社会起業イノベーション学位プログラム」を開設。

大学4年間で起業した学生が、大学院に進学することで、さらに知識・経験を深めて事業を成長軌道にのせることができる教育・環境作りをめざします。大学の出身学部や専門分野は不問で、すでに起業している方、起業をめざす方を、社会人も含めて幅広く受け入れます。

また、国内最大規模のベンチャー投資会社であるインキュベイトファンド株式会社や、公益財団法人大阪産業局との包括連携協定によって、起業に必要な人脈作りもサポートします。

奨学金

奨学金は2023年度入学生のもので、2024年度は変更になる可能性があります。詳細は近畿大学ホームページをご参照ください。

入学試験の成績優秀者対象特待生制度

入学試験の成績優秀者に4年間の授業料を全額免除もしくは入学金免除します。

■アドミSSIONSオフィス(AO)入試(総合型選抜)

成績上位者かつ特に優秀なプログラミング能力がある者で上位4位以内(授業料全額免除)
成績上位者かつ優秀なプログラミング能力がある者で授業料全額免除を除く上位4位以内(入学金免除)

■一般入試・前期(A日程・B日程)(授業料全額免除)

得点率75%以上かつ上位者からA日程では20位以内、B日程では10位以内。

■共通テスト利用方式(前期・中期)(授業料全額免除)
得点率80%以上かつ上位者から前期では10位以内、中期では5位以内。

※入学試験において、次年度も特待生の対象となるための条件は別に定めます。

近畿大学独自の奨学金

区分	時期・期間	名称	内容
貸与(返済不要)	在学中	近畿大学給付奨学金※1	年額／300,000円
		近畿大学奨学金(定期採用)※2	年額／600,000円

※1 近畿大学給付奨学金につきましては、入学前予約採用型の制度もあります。 ※2 薬学部医療薬学科は年額／800,000円

日本学生支援機構奨学金

※第一種、第二種とも高等学校などに在籍時に予約採用の制度があります。在籍の高等学校などにお問い合わせください。

区分	時期・期間	名称	内容
貸与(無利子・有利子)	在学中	第一種奨学金(無利子・選択型)	〈自宅通学〉月額 20,000円～54,000円 〈自宅外通学〉月額 20,000円～64,000円 (家計支持者の収入基準額により選択できます。)
		第二種奨学金(有利子・選択型)	希望する奨学金の月額を次の中から選べます。 20,000円～120,000円(1万円単位から選択) 貸与途中で月額を変更することもできます。 ※医学部40,000円、薬学部20,000円の増額も可能。(ただし、120,000円を選択した場合のみ) 利息①利率固定方式(貸与終了時に決定する利率で最後まで返還)、②利率見直し方式(返還期間中おおむね5年毎に見直しされる利率で返還)より選択します。卒業あるいは退学した翌月から月単位で利息が計算されます(在学中および返還期限猶予期間は無利息)。

高等教育の修学支援制度

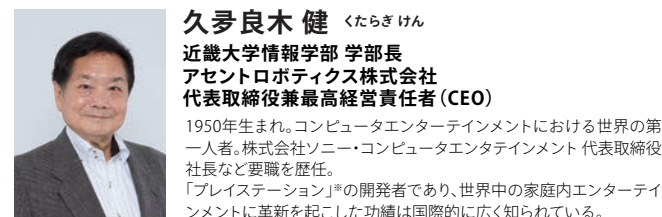
高等教育の修学支援制度(授業料等の減免と給付型奨学金)について令和元年9月20日に近畿大学および近畿大学短期大学部は文部科学省から対象機関として認定を受けています。

高等教育の
修学支援制度は
こちらから





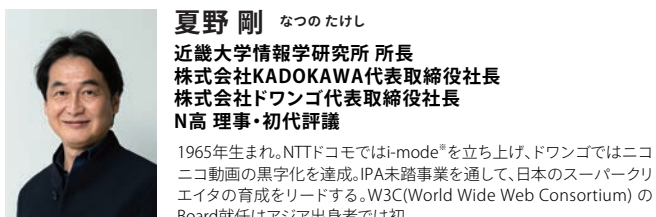
学生の数だけ
イノベーション
が起こっている



※「プレイステーション」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。



機会を提供できる
プラットフォーム
としての大学が21世紀には必要



※「i-mode」は株式会社NTTドコモの登録商標または商標です。

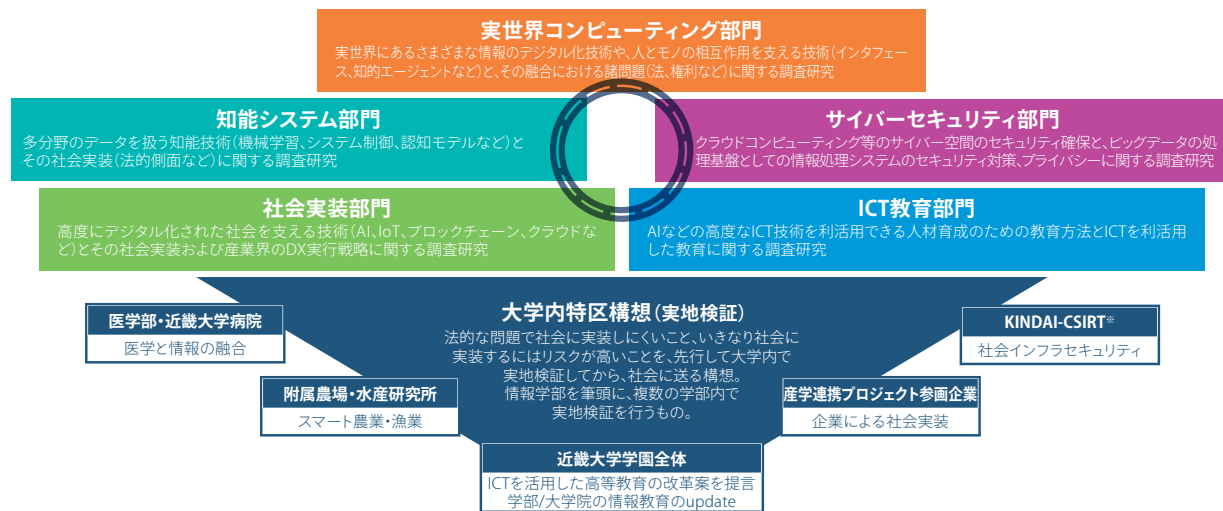
情報学研究所

近畿大学情報学研究所は、令和2年（2020年）4月、本学の18番目の研究所として開設されました。Society 5.0を構成するサイバー空間に対応する「知能システム部門」、フィジカル空間に対応する「実世界コンピューティング部門」と、これらを高度にかつ安全に融合させるネットワークに対応する「サイバーセキュリティ部門」、今後の超デジタル社会で必要とされるICT技術の教育方法とICTを活用した教育に対応する「ICT教育部門」、およびAI・IoT・ブロックチェーン等の高度な技術の社会実装や産業界のDXに対応する「社会実装部門」の5つの部門からなり、いずれも各部門の第一線で活躍する専門家を教員として招聘しています。

また、Apple社認定の教育トレーニングセンター「Apple Authorized Training Center for Education (AATCE)」を設置して、Appleのアプリ開発を支援しています。アプリ開発に必要なプログラミング言語や開発ツールなどの知識・技術を身につけることができます。

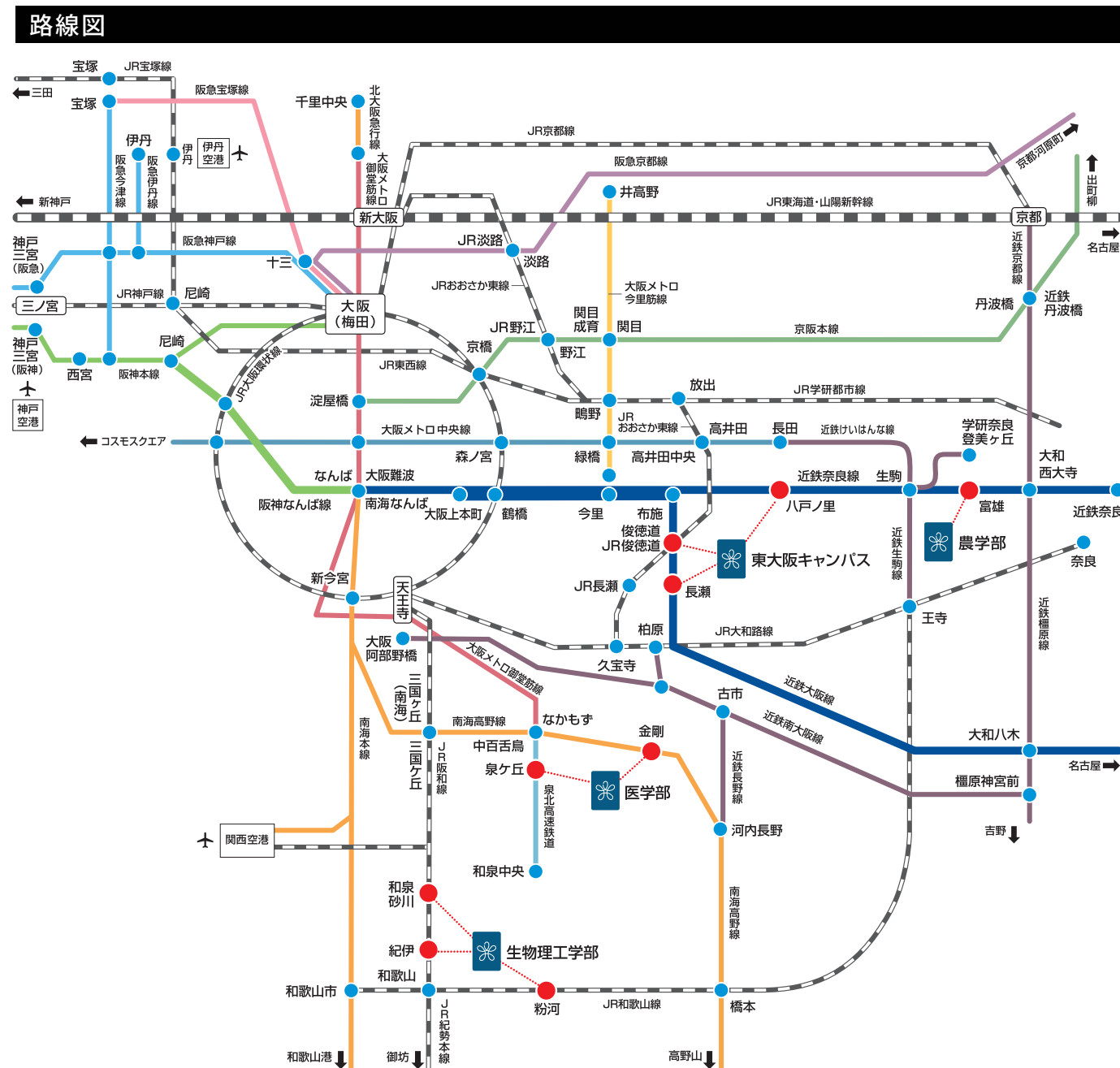


Apple社認定 教育
トレーニングセンター
(AATCE)の詳細



Society 5.0

※KINDAI-Computer Security Incident Response Team



各主要駅からの経路・所要時間（目安）※乗り換え時間を含みません。＊駅から近畿大学への直通バスです。

